

自民党奈良1区支部長
(奈良市・生駒市)



チーム高市。チーム奈良。

①暮らし・なりわいを支える積極財政

- ・迅速な物価高対策をすでに実行
ガソリン暫定税・軽油引取税の廃止
(約1.2万円/世帯)
電気・ガス代の補助(約7300円/世帯)
重点支援地方交付金の拡充(商品券など)
子育て応援手当(2万円/こども1人)
年収の壁見直し(所得税約3～6万円/1人)

・給付付き税額控除制度創設

・飲食料品の消費税をゼロに(2年間)

- ・経済成長への将来投資(文科副大臣として担当)
新技術・成長分野に大胆に投資・税制優遇
[スタートアップ減税など行い、
日本がリードする技術領域で産業化加速]

・中小企業を強く、豊かに

- 価格転嫁徹底・下請けいじめ一掃
政府契約の単価見直し
米関税の影響を受ける企業への資金繰り等支援

②地方の成長・安全

・成長の果実を奈良へ

- 成長産業・データセンターなど誘致し雇用創出
農産物・工芸品などの輸出促進
[観測衛星など新技術使い防災、インフラ整備、
農業支援等(文科副大臣として担当)]

・安全・安心な日本

- 外国人在留・国籍取得・不動産取得の厳格化
外国人旅行者の免税制度見直しを検討
組織犯罪・闇バイト撲滅

・地域公共交通の維持

・奈良市東部地域振興

③福祉・教育

・医療・福祉の充実

- 診療報酬・介護報酬を大幅に引き上げ
看護師・介護士・保育士の処遇改善
予防医療や省エネ健康住宅で健康寿命延伸

- ・質の高い教育の実現(文科副大臣として担当)
私学無償化と公立高校の強化で教育格差を解消
学校施設整備の推進
教師の処遇改善の継続

④万全の外交・安全保障

・外交力の強化

- 同盟国・同志国との連携強化

・安全保障の深化

- 戦略三文書の前倒し改定
自衛官の処遇改善・人材確保
[インテリジェンス能力の抜本的強化
重要物資、資源のサプライチェーン強靱化、
データ保護など経済安全保障の推進]

・緊急事態・自衛隊明記など憲法改正

・拉致被害者の早期帰国

⑤政治改革

- 政治資金規正法改正
衆議院議員定数を大幅に削減

⑥奈良市・生駒市のインフラ整備

- 京奈和道 改築19.3億円 デジタル化1.9億円 等
八条踏切道改良 8.7億円
西九条佐保線 2.9億円
清滝生駒道路 3.5億円

など昨年度補正予算でしっかりと確保！



子ども・子育て・教育政策
がライフワーク



高市総理の三度の総裁選
全てで推薦人を務める



祭りなど地域行事に参加 昨年も奈良マラソンに出
し、街の声を聞いています 場し、体力は十分



チーム高市。チーム奈良。

文部科学副大臣として

昨年10月22日の就任以来、文部科学副大臣として全力で働いてまいりました。

科学の再興

近年、日本の科学技術力は低迷が続いています。この現実を真摯に受け止め、政治のリーダーシップで従来の政策を大胆に転換します。まず、これまで減額が続いていた国立大運営費交付金をはじめとする研究機関の基盤的経費や、基礎研究への投資の大幅な拡充を断行しました(令和7年度補正予算・令和8年度予算案)。来年度から5年間の第7期科学技術・イノベーション基本計画にもこうした内容を書き込むことを目指し、政府・国会で議論しています。若い研究者が研究に集中できる環境を整備します。

新技術立国

経済成長・安全保障のためにもAI・半導体など特に重要な戦略17分野について、同志国と連携し、また、官民の投資を拡大し、世界をリードする日本の科学技術を取り戻します。

世界に誇る文化芸術

日本が世界に誇る文化芸術の振興を図ります。ゲーム・アニメをはじめとする日本のコンテンツの海外売上高はここ10年ほどで大幅に伸びており、2023年時点で5.8兆円。これを33年に20兆円とすることを目標に、人材育成や海外展開の支援、知的財産の保護などの取り組みを行っています。遅れている国立劇場の建て替えなど、難しい仕事も任されています。



小林しげきプロフィール

昭和39年10月9日生まれ。奈良市押熊町出身。平城小、登美ヶ丘中、清風高、慶応大法学部卒。大学卒業後、大和銀行に入行。その後、西大寺の三和住宅に入社。奈良県議会議員を2期務めたのち、平成24年の衆院選で初当選、現在4期目。高市総理の3度の総裁選全てで推薦人を務める。

元 国土交通大臣政務官

元 環境副大臣兼内閣府副大臣

2025年10月より 文部科学副大臣

奈良事務所

〒631-0827 奈良市西大寺小坊町1-6 西大寺ビル1階東

TEL:0742-52-6700 FAX:0742-52-8633



X



Facebook



HP



高市内閣の 中心で働く！



水素・核融合など次世代エネルギーの開発・実用化へ



松本大臣のもと文部科学副大臣として働く



宇宙・南極など、フロンティアに向けた重要な国家プロジェクトも担当(←宇宙飛行士、南極観測隊→)

